

NewsRelease

岩谷産業株式会社 広報部

東京本社 〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 TEL. (03) 5405-5851
大阪本社 〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4 TEL. (06) 7637-3468

2023年10月31日

燃料電池トラックでのLPガスボンベ、産業ガスボンベ配送を開始 ～東京・福島に導入、ガスボンベの配送は業界初～

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：間島寛、資本金 350 億円）は、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、水素を燃料とした燃料電池トラック（以下「FCトラック」）を、東京都および福島県の実証拠点に導入し、LPガスボンベ、および産業ガスボンベの配送を開始いたしました。

FCトラックでガスボンベの配送を行うのは業界初となります。

今回導入したFCトラックは、Commercial Japan Partnership Technologies株式会社（以下CJPT）がカーボンニュートラル社会の実現に向け東京都と福島県で取り組む、エネルギーマネジメントシステムの構築・社会実装の一環として導入するものです。

本社会実装は、一部を国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業「グリーンイノベーション基金事業／スマートモビリティ社会の構築」として実施されています。当社が契約する協力運送会社がNEDOより交付決定を受けたCJPTからの業務委託により、FCトラックを運行し、各種データの提供や水素ステーションの運営手法の向上に協力してまいります。

■当社の実証概要

導入事業所 : 東京都 イワタニ東京ガスセンター
福島県 イワタニセントラル福島(株) 郡山センター、いわきセンター
用途 : LPガス、産業ガスボンベ配送
実証期間 : 2023年10月～2030年3月末（予定）

■FCトラック概要

寸法 : 全長 6,240 / 全幅 2,170mm
最大積載量 : 2,950kg
航続距離 : 約 260km
水素搭載量 : 10.5kg

当社は、2030年にCO2排出量を2019年比で50%削減することを目標としており、カーボンニュートラル社会の構築に向けて、グリーン水素のサプライチェーン構築や水素ステーションなどのインフラ整備に積極的に取り組んでいます。

また、中期経営計画「PLAN27」では、「つくる」「はこぶ」「つかう」といった水素のサプライチェーン全体に関わる取り組みを掲げており、今回のFCトラックの導入は、水素を「つかう」取り組みの一つとなります。

今後も燃料電池自動車の普及や水素サプライチェーン構築に向けた取り組みにより、カーボンニュートラル社会の早期実現に貢献してまいります。



東京と福島の高圧ガス配送拠点に導入された車両